

ガレンとスコーフ

## 明朗お布施 仏教界に波紋

がっている。仏教界は「宗教のビジネス化」と反発するが、薄れつつある社会との関係の再構築も迫られている。

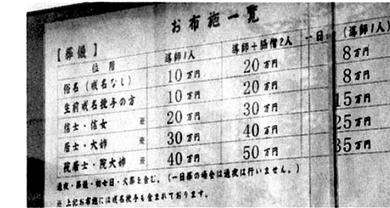
けるのは安易な世俗主義だ。  
度が過ぎる）。全日本  
仏教会（全日仏）理事長を務  
める淨土真宗・本願寺派の石  
川社長によるとサービス自体は20  
品は統一。お坊さん便の運営会社  
は、みんれび（東京・新宿）  
による

上巣康綱氏は、こう語る。  
問題の発端は昨年12月、インターネット通販のアマゾンジャパン（東京・目黒）が「お届けに遅れました」と抱き合ったことだ。一方で、JR東日本（横浜）が「お届けに遅れました」と抱き合ったことだ。

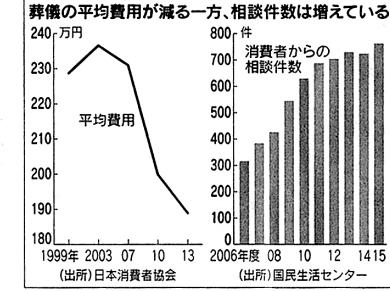
「檀家」36%どまり

提寺と檀家の関係が薄れてい  
ることがある。寺院経営サイ

(東京・港) が15年に40~80歳代の男女500人に実施し



境内にお布施の金額を明示する寺院も現れている（埼玉県熊谷市の曹洞宗見性院）



CURRENT SCOPES

「お布施を請求された」「おお、それが少ないから戒名を付けられた」と不透明な「ないと言われた」と批判する声も寄せられた。

寺院にも変革の動きはかなり十分ではなく、一般的の信頼関係も薄れて「外部に識者などをえた協議を立ち上げ、内部改革に着手する」議論を始めた。ただ、この議論を始める予定だ。

消費者の日厳しく僧侶の紹介サービスを認める仏教界と企業のいじめ。だが今はまだ今が初めてではなく、おぼつかないでいる。東京都福島さんといふのは、4年ほど前に「本格的に僧侶を紹介する事業を始めた。」と話す。林秋馬英代表は寺の出身で僧侶の資格を持つ。友人が父親の義理で新規なお布施の話を聞き、それまで本格的な仏教が知らないことを実感した。日本消費者協会によると、日本人が葬儀にかける平均費用は13年時点で1,88万9千円とビーチク。葬儀界の本格化は、これまでの100円から2割減の10円へと実質的に加え、核家族化で争効率化され、僧侶化で

に会員は約3万人に達する。会員を繋がりに起業した。すでにイオーラは99年に葬儀事業に参入し、10年からは金銭を支出し僧侶を介引するサービスも始めた。14年に「法人化」してイオン・ライフ(千葉市)から発足し、会員数は12万人を超える。広原章隆社長は「自分なり、消費者の視線がシビとなり、消費者の視線がシビになり、消費者の視線がシビ

の父親の葬儀で価値の不明瞭さに違和感を持った。きちんと契約書を交わす一般的のビジネスが使われていない理由についてのではあるかないかと尋ねたところ、「お布施の定額サ...  
第一主命怪獣研究所の小

みどり主席研究員は「人々が登場するたび抗議を繰り返してきた。ただ、利用者の広 檻家である」とメリットを述べた。

実情だ。かりを扣えぎれてしないのか  
全曰仏も、風当たりの強さ  
感じられないでいる。  
僕が命や死の問題でプロとなり、日ごろから頼りにされ

は自覺している。石上理事長は「寺院の側にも仏教の精神をないがしろにする行為がある存在にならなければ寺離れ止まらない」と指摘する。宗教界は重い課題を突きつけ

# 進む寺離れ、重い課題

る。平素の僧侶や寺の宗教活

（本田幸久）